

## 第2回 大阪市 ICT 戦略プロジェクトチーム会議 会議要旨

1 日 時 平成 26 年 12 月 26 日（金） 13：30～15:00

2 場 所 大阪市役所本庁舎 5 階特別会議室

3 主な出席者

<委員等>

村上総務局長、田畑都島区長、玉置浪速区長、東危機管理監、吉川経済戦略局理事、谷川市民局長、川田都市計画局長、山本教育長

<事務局（総務局）>

岸本行政部長、山本総務課長、中道総務課 ICT 推進担当課長代理、矢野都市計画局計画部都市計画課情報化施策担当課長代理兼総務局行政部総務課 ICT 推進担当課長代理、山本総務課担当係長、西都市計画局計画部都市計画課担当係長兼総務局行政部総務課担当係長

4 会議要旨

(1) ICT 戦略について

総務局から、大阪市 ICT 戦略の推進に向けて、分野ごとに、現状分析及び課題、また現状分析を踏まえた取組みの方向性に関する説明を行い、戦略の検討体制及び平成 27 年度までのスケジュールを提案し、了承された。

(2) 「大阪市オープンデータの取り組みに関する指針（案）」について

総務局から、大阪市オープンデータの取り組みに関する指針（案）について説明・提案を行い、了承された。

(3) 大阪市 ICT 活用関連事業【平成 27 年度予算（案）】について

総務局から、平成 27 年度大阪市 ICT 活用関連事業予算（案）について説明・提案を行い、了承された。

(4) 意見等の概要は以下のとおり。

- ・これまで大阪市における WiFi 整備は、民間企業による設置を軸に取り組んできたが、最近ではその動きにも停滞が見られる。東京オリンピックの開催決定によって首都圏では WiFi 整備が加速しているが、大阪では WiFi 整備をどのような手法でどの程度までやるのかを検討していく必要がある。
- ・観光分野についても、大阪観光局との兼ね合いもあるが、WiFi 整備や情報発信等も関わってくるので議論できないか。
- ・オープンデータに継続性を持たせることが重要である。また、市民や民間の巻き込みも考えながらアプリの開発コストを下げっていくべきである。
- ・オープンデータにおいて、インフラ等の詳細情報の公開は、安全上の懸念がある。データの公開におけるニーズとセキュリティの関係における最適地点はどこなのかを見

極めていく必要がある。

- アプリ検討タスクフォースでは、行政がやるべきものとやらないものの線引きを行わなければならない。そのためにも、民間によるアプリ開発との差異化を検討項目に入れるべきである。

## 5 会議資料

資料1 大阪市 ICT 戦略プロジェクトチーム会議第2回

資料2 大阪市オープンデータの取り組みに関する指針（案）

資料3 大阪市 ICT 活用関連事業【平成27年度予算（案）】